



志位和夫



はたの君枝



さいとう和子



しいば かずゆき

発行 日本共産党国会議員団
2018年9月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F Tel 045-324-6516

国会活動報告

沖縄知事選「玉城氏勝利のために全力つくす」

沖縄県知事選(9月13日告示、30日投票)で、「オール沖縄」から出馬要請を受けている自由党の玉城デニー幹事長が28日、国会内の日本共産党控室を訪れ、支援を要請しました。(→)

また志位氏は8月30日国会内での記者会見で、玉城デニー氏の沖縄県知事選出馬表明会見(29日)に言及し、「翁長知事の遺志を引き継ぐ決意とともに、熱い情熱が伝わってきます。長年にわたって基地の重圧のもとで苦しみ、前途を開こうと願っている多くの沖縄県民の心に深く響き、強い共感を呼ぶものだと確信します。力をあわせて必ず勝利したい」と語りました。



南関東 各地で一斉宣伝



8月24日、南関東ブロック各地で一斉宣伝、神奈川66カ所、千葉県22カ所、山梨県10カ所で実施しました。

千葉 「安心して働き暮らせる政治に」浅野氏訴え

千葉県では時折強い風と雨が降る中、JR千葉駅前で、駅頭宣伝に取り組みました。浅野ふみ子参院選挙区予定候補、ふくなが洋千葉市議、地元後援会員の皆さんのが参加。通勤・通学者が足早に駅やバス乗り場に向かうなか、党市議団千葉市議会だより等を配布しました。

市民の声を聞く国政を実現するために

神奈川

川崎市麻生区の小田急線新百合ヶ丘駅前で、はたの君枝衆院議員とあさか由香参院選挙区予定候補、地元の党や後援会の人たちが宣伝に取り組みました。はたの氏は「市民の声をしっかりと聞く



国政を実現しよう」と訴えました。

山梨 党の躍進訴え

しいばかずゆき参院比例予定候補は8月26日、山梨県北杜市で街頭宣伝し、来年の参院選での党躍進を訴えました。清水進、志村清両市議と、プラカードを持った後援会員ら40人が参加しました。



国交省からの聞き取りを要求実現の質問に生かして

千葉県香取市の宇井正一市議は6月、再生土処分場業者の埋立てによる過積載大型ダンプの通行で市道が損傷している問題で、はたの事務所を通じて国交省から聞き取りを行いました。宇井氏は道路が損傷したため事業者が自ら鉄板を敷いた事などをあげ「道路の修理費は埋立て事業者が負担すべきでは」と質問。国交省担当者は「そうした事実を積み上げることが必要。負担金を求めるることはあり得る」と述べました。宇井議員はこの問題を議会で取り上げています。(国交省担当者に聞く宇井氏→)



NECはリストラ撤回を！

労働者らが宣伝、はたの、しいば氏も訴え

電機大手のNECが計画している3000人規模のリストラを撤回させようと、NEC関連労働者懇談会と電機・情報ユニオンは、8月20日川崎市の玉川事業所前で宣伝、通勤途上の労働者が次つぎとビラを受け取りました。電機・情報ユニオンの米田委員長は「労働者への面談は、退職強要そのもの」「ユニオンの組合員には面談はない、ユニオンに入り、一緒に運動しよう」と訴えました。森書記長は「営業利益は前年度より20億円増加して639億円であり、リストラの必要はない」とよびかけました。



NEC事業所前で宣伝する、電機情報ユニオンの組合員ら、はたの、しいば氏=8月20日川崎市

はたの議員は、「2012年のリストラ時に”二度としない”と言った。国内では前回を超える規模」と批判。しいば氏は「大きな黒字を抱える企業がリストラなどあってはならない」と強調しました。

“次はぜひ、ホームドアを” 転落事故のJR保土ヶ谷駅を視察



保土ヶ谷駅ホームで確認する、左からしいば、はたの氏、右から二人目奥が北谷市議
=16日横浜市

8月16日神奈川視覚障害者の生活と権利を守る会は、今年6月に視覚障害者の転落死亡事故が発生したJR保土ヶ谷駅で、改良工事後の駅舎の状況を確認しました。はたの議員、しいば氏、北谷まり横浜市議が同行しました。

事故直後にも同駅を調査。同駅ホームにはホーム内側を示す点字ブロックの「内方線」やホームドアが設置されていないことを確認し、改善を要望していました。

今回の調査で同駅担当者から、「ホーム端の注意喚起ラインは7月31日に、内方線は8月1日に整備した」と報告。

しいば氏は「実現は一步前進ですが、一刻も早いホームドアの設置が必要です。駅員体制の充実など、改善をすすめたい」と話しました。

木更津のオスプレイ配備やめよ

千葉県委員会は8月31日、はたの議員とともに、陸上自衛隊木更津駐屯地での米軍オスプレイの定期整備や、陸自が今秋導入するオスプレイの暫定配備の問題について、防衛省に説明を求めました。さいとう和子前衆院議員、浅野ふみ子氏、丸山慎一県議、上野ひろつぐ、中沢学(船橋市議)両県議候補、船橋、木更津、八千代、習志野、富津の各市議が出席しました。(↓)



国交省に要請する、左から丸山氏、一人おいてはたの、さいとう氏ら



高い運賃の東葉高速鉄道 国に支援策求める

千葉県西部地区委員会、船橋、八千代両市議団は8月31日はたの議員とともに、運賃が高額で利用者に重い負担の東葉高速鉄道について、建設時の債務負担を無利子にするなどの支援策を国交省に要請しました。さいとう氏、浅野氏、丸山県議、上野ひろつぐ、中沢学両氏が同席しました。丸山氏は「収益が利払いに消えている。無利子融資で建設されたつくばエクスプレスのやり方を遡って適用を」と強調。はたの氏は「問題は解決していないのだから、抜本的な解決をすべき」と、迫りました。